

# 取組事例(住民の皆さんと一緒に進める交通事故対策)

## (1) 場所

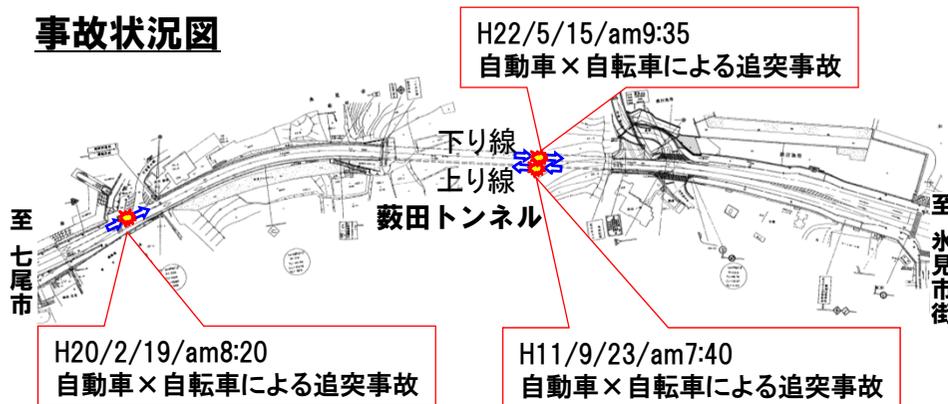
富山県氷見市藪田地先  
国道160号 藪田トンネル付近



## (2) 対策前の状況

平成11年と平成22年に藪田トンネル内を走行する自転車に自動車が増突する交通死亡事故が発生している。同様に、平成20年にはトンネル北側の市道藪田線との交差点においても、国道を走行する自転車に自動車が増突する交通死亡事故が発生している。

### 事故状況図



## (3) 取り組みの流れ

H23.11.9

住民の皆さんと一緒に現地  
合同点検

### 合同点検の結果

- トンネル内壁の清掃し明るく
- トンネル内のセンターラインを凸に変更
- トンネルの両側に減速誘導ラインを設置
- トンネル七尾市側出口の歩道段差解消
- トンネル照明の視認性の向上
- トンネル手前に注意喚起看板を設置の対策の意見があった。

H23.11下旬

第1弾  
対策完了

H24.3

第2弾  
対策完了

### 内容毎に順次、対策を実施

#### 【第1弾対策】

- トンネル内壁の清掃し明るく
- トンネル内のセンターラインを凸に変更

#### 【第2弾対策】

- トンネルの両側に減速誘導ラインを設置
- トンネル七尾市側出口の歩道段差解消

#### 【第3弾対策】

- トンネル照明の視認性の向上
- トンネル手前に注意喚起看板を設置

H25.2

第3弾  
対策完了

H25.3.14

住民の皆さんと一緒に現地  
合同事後点検

### 合同事後点検の結果

- トンネル照明は明るくなった
- 能越自動車道を供用しても交通量は減っていない気がする。大型車も現道を通行しており、危険な状況
- これで終わりではなく、センターラインやトンネル内壁の清掃については引き続き継続してほしいとの意見があった。

経過観察

# 取組事例(住民の皆さんと一緒に進める交通事故対策)

## (4-1) 取組内容(現地合同点検)

日時：平成23年11月9日  
9:30～10:30  
参加者：地域住民(16名)  
計30名 氷見警察署  
氷見市役所  
国土交通省



写真：現地合同点検の様子

当日の流れ

- 9:30 集合
- 9:30～9:45 交通事故状況及び対策案の説明
- 9:45～10:00 現地見回り  
(藪田漁港～市道～国道160号～  
トンネル～藪田漁港)
- 10:00～10:30 意見交換

### 地域住民

歩道に段差があり危険



### 地域住民

トンネル照明が暗く感じる



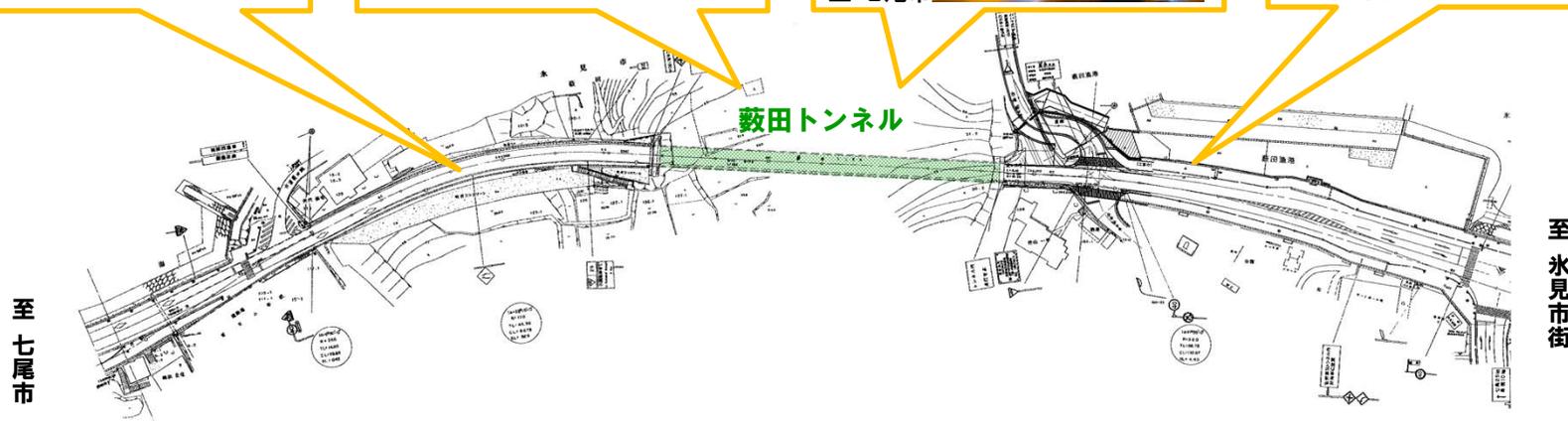
### 地域住民

トンネル内で車線を超えてくる大型車がいる危険



### 地域住民

車の走行速度が速くて危険。トンネルに入る手前で速度を低くできないか。



# 取組事例(住民の皆さんと一緒に進める交通事故対策)

## (4-2) 取組内容(対策実施)

### 第1弾 対策(H23.11下旬完了)

#### 地域住民

トンネル内で車線を超えてくる大型車がいる危険



#### 地域住民

トンネル照明が暗く感じる



#### 対策後

ラインに凸を設け、車両走行時にタイヤが乗ると「ブーン」という音が鳴るため、はみ出し防止や居眠り防止などの効果があります。

対策延長：L=133m



#### 対策後

黒く汚れていたトンネル壁面をきれいに清掃することにより、前方車両の視認や、障害物の早期発見・視線誘導効果の向上・照明効果の効率化を図ります。

対策延長：L=133m



### 第2弾 対策(H24.3完了)

#### 地域住民

歩道に段差があり危険



#### 対策後

歩道にあった段差を解消し、安全に通行出来るようにしました

対策延長：L=160m



#### 地域住民

車の走行速度が速くて危険。トンネルに入る手前で速度を低くできないか



#### 対策後

車道が狭くなっているように見せかけ、通行車両の減速を促すため減速誘導線を設置しました。

対策延長：L=200m(各100m)



## (4-2) 取組内容(対策実施)

### 第3弾 対策(H25.2完了)

#### 地域住民

トンネル照明が暗く感じる



#### 対策後

照明灯を明るく改良することにより、前方車両の視認や、障害物の早期発見・視線誘導効果の向上・照明効果の効率化を図ります。

対策延長：L=133m



#### 地域住民

車の走行速度が速くて危険。  
トンネルに入る手前で速度を低くできないか



#### 対策後

看板『事故危険区間』と赤色灯で事故の危険区間であることを周知し、運転手の注意力の向上を図ります。

設置基数：N=2基



## (4-3) 取組内容(現地合同事後点検)

日時：平成25年3月14日  
10:00~11:30

参加者：地域住民(11名)  
計24名 氷見警察署  
氷見市役所  
国土交通省



写真：現地合同点検の様子

#### 当日の流れ

- 10:00 集合
- 10:00~10:10 対策内容の説明
- 10:10~10:45 現地見回り  
(藪田漁港~市道~国道160号~  
トンネル~藪田漁港)
- 10:45~11:30 意見交換(能越自動車道の効果説明含む)

#### 住民の皆さんの意見



- 区画線やトンネル内の内装版の清掃を今後もしっかりとやってもらいたい。
- 能越道へ交通が転換したと言われるが、地元の実感としては減っていない気がする。木材積んだ車は能越道が整備されてもまだ現道を利用している。事故は減っているというが、事故がゼロになって初めて対策完了と言える。
- トンネル照明について今までは夜や朝方に黒い暗い服を着ていると見えづらかったが、今のは暗い未明の時間でも見やすくなった。